



第18回 シンポジウム

オリンピック・パラリンピック東京大会とスポーツ・文化・観光プログラム

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、スポーツの祭典であるとともに、わが国の文化財や伝統工芸・芸能等の価値を世界に発信し、文化芸術が生み出す社会への波及効果を活かして成熟社会に相応しい新たな社会モデルの構築につなげる格好の機会である。

2012年ロンドン大会では、英国のあらゆる地域で11万件に及ぶ文化イベント等が開催され、参加者は4,300万人を超えたともいわれている。これを受けて日本においても、ロンドン大会を超えるべく、組織委員会、文化庁をはじめとする中央省庁や地方自治体等が連携し、全国各地での文化プログラム実施に向けた取組を加速化しているところである。

そこで、本シンポジウムでは、2020年に向けたスポーツ・文化・観光の活性化に係る各種施策とその最新動向等について関係省庁からご紹介頂くとともに、その課題や今後の方向性等について討議を行いたい。

シンポジウム概要



平成29年3月29日(水)

(受付 13:30~)

14:00 開会
14:05~14:55 基調講演
15:00~17:00 パネルディスカッション



弘済会館 4階会議室「蘭」
東京都千代田区麹町5-1
TEL:03-5276-0333 (アクセス次ページ)



70名



3,000円
*参加費は、当日受付にてお支払いいただきます



平成29年3月27日(月)

基調講演

演題 スポーツ・文化・観光による新しい地域創生の試み
講師 原田 宗彦氏
早稲田大学スポーツ科学学術院 教授

パネルディスカッション

テーマ

2020東京大会に向けてスポーツ・文化・観光政策の連携

パネリスト

高田 行紀氏 文化庁 長官官房政策課企画調整官
(併)文化プログラム推進室担当室長
勝又 正秀氏 スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック課長
蔵持 京治氏 観光庁 観光地域振興部観光資源課長

進行

丁野 朗氏 (公社)日本観光振興協会
総合調査研究所特別研究員,
東洋大学大学院客員教授,文化庁日本遺産委員

お申込み方法

- お申込み方法：【メールの場合】当連合ホームページ <http://www.jsif.or.jp/>のお申込みサイトからお申込み下さい。
【FAXの場合】下記参加申込書に必要事項をご記入の上、切り取らずに下記事務局まで送信願います。
いずれも定員となり次第、締め切りとさせていただきます。
- お問い合わせ先：公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会事務局 [TEL:03-6434-9510](tel:03-6434-9510) [E-mail:jshif@spo-danren.jp](mailto:jshif@spo-danren.jp)

FAX: 03-6434-9511 (公社)スポーツ健康産業団体連合会 第18回シンポジウム 参加申込書

ご所属			
所在地	〒 ー		
ご連絡先		TEL :	FAX :
参加者名	役職	氏名	
	E-mail :		
	役職	氏名	
	E-mail :		
	役職	氏名	
	E-mail :		

講師のプロフィール



■基調講演 原田 宗彦 (はらだ むねひこ) / 早稲田大学スポーツ科学学術院教授

1954 年大阪府生まれ。京都教育大学卒。筑波大学大学院体育研究科修了。ペンシルバニア州立大学健康体育・レクリエーション学部博士課程修了。国立鹿屋体育大学、大阪体育大学を経て 2005 年より現職。専門はスポーツマネジメント。『スポーツと地域活性化』を主要なテーマに掲げ、2008 年のオリンピック大阪招致活動に尽力。一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構(JSTA)会長、日本スポーツマネジメント学会(JASM)会長、日本スポーツ産業学会理事、公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会理事など多数務める。著書に『スポーツ産業論』、『スポーツ都市戦略』、『スポーツマーケティング』(スポーツビジネス叢書)など多数。

パネルディスカッション出演者



■パネリスト 高田 行紀 (たかだ ゆきのり) / 文化庁 長官官房政策課企画調整官 (併) 文化プログラム推進室担当室長

1971 年京都生まれ。神戸大学文学部卒業。1997 年文部省入省。体育局競技スポーツ課にて長野冬季オリンピック大会等に携わる。2007 年高知県教育委員会教育政策課長。2009 年文化庁政策課課長補佐。2013 年在ブラジル日本国大使館一等書記官として、リオ・オリンピック・パラリンピックに携わる。2016 年 10 月文部科学省スポーツ・文化・ワールド・フォーラム準備室、同年 11 月文化庁文化プログラム担当室長、本年 2 月より現職。



■パネリスト 勝又 正秀 (かつまた まさひで) / スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック課長

1967 年静岡県御殿場市生まれ。1990 年建設省入省。1999 年鳥根県企画振興部土地資源対策課長。2001 年鳥根県土木部管理課長。2003 年国土交通省道路局、住宅局、大臣官房を経て、2008 年観光庁外客誘致室長。2011 年高松市副市長。2015 年 10 月よりスポーツ庁オリンピック・パラリンピック課長。スポーツ庁では、2020 年東京大会に向けた調整及び国内外へのオリンピック・パラリンピック・ムーブメントの推進に取り組んでいる。



■パネリスト 蔵持 京治 (くらもち きょうじ) / 観光庁 観光地域振興部観光資源課長

1968 年生まれ。東京大学法学部卒業。1992 年 4 月運輸省(現 国土交通省)入省。運輸省観光部旅行業課等を経て鹿児島県交通政策課長、長崎県警察本部警察部長として出向。官民交流の一環として株式会社日立製作所情報システム社担当部長を経験する。2016 年 6 月より観光庁観光地域振興部観光資源課長(現職)。趣味はジョギング、スキー、少林寺拳法(二段)



■進行 丁野 朗 (ちのの あきら) / (公社) 日本観光振興協会 総合調査研究所特別研究員, 東洋大学大学院 客員教授, 文化庁 日本遺産委員

1950 年高知県生まれ。1973 年同志社大学卒業後、マーケティング及び環境政策のシンクタンクを経て 1989 年(財)余暇開発センターに入所。ハッピーマンデー制度の創設やサマータイム制度などの提唱と実現化事業の推進をはじめ、産業遺産活用・産業観光などの地域活性化事業、『レジャー白書』の編集・発行等に携わる。2002 年(財)社会経済生産性本部に移籍。2008 年から現職。法政大学キャリアデザイン学部講師、東洋大学大学院客員教授、多摩大学大学院客員教授。経済産業省、国土交通省、文化庁等、関係省庁委員として各種政策形成に係わる。また日本商工会議所「観光専門委員会委員」、カーたび推進機構代表幹事等多方面で活躍。

弘済会館のご案内

URL: <http://www.kousaikai.or.jp/hall/access.html>



〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-1

TEL:03-5276-0333

【最寄り駅】

- ・ JR中央線・総武線 「四ッ谷駅」
麹町出口 徒歩 5 分
- ・ 地下鉄 丸の内線・南北線「四ッ谷駅」
1 番出口 徒歩 5 分
- ・ 地下鉄 有楽町線「麹町駅」
2 番出口 徒歩 5 分